

令和  
6  
年度

# いよびの花あじ 5

教師用



愛知教育文化振興会  
三河教育研究会

目次

一	敬語 <sup>けいご</sup> ……………	1
二	漢字の成り立ち……………	5
三	いにしえの言葉に親しもう・いにしえの人のえがく世界……………	12
四	思考に関わる言葉……………	16
五	どうやって文をつなげればいいの？……………	18
六	熟語 <sup>じゆく</sup> の構成 <sup>こうせい</sup> と意味……………	19
七	和語、漢語、外来語……………	24
八	日本語と外国語……………	26
九	方言と共通語……………	28

みなさん、  
いっしょに べんきよう  
しましょうね。



ことばのきまり  
イメージキャラクター  
ことちゃん

表紙 岡崎 浅井 優子先生  
紙 成田 綾香先生  
目次 嶋田 佑子先生  
カット 幸田 大須賀貞治先生  
みよし 吉田 祐示先生



第五学年 「ことばのきまり」と教科書の関連表

「新しい国語」五年 東京書籍（令和六年度版）

		ことばのきまり								教科書	
九	方言と共通語	方言・共通語	方言と共通語	236							
八	日本語と外国語	語順	日本語と外国語	203							
七	和語、漢語、外来語	和語、漢語、外来語	和語、漢語、外来語	和語、漢語、外来語	和語、漢語、外来語	和語、漢語、外来語	和語、漢語、外来語	和語、漢語、外来語	和語、漢語、外来語	和語、漢語、外来語	176
六	熟語の構成と意味	熟語	熟語の構成と意味	170							
五	どうやって文をつなげればいいのか？	接続語	どうやって文をつなげればいいのか？	146							
四	思考に関わる言葉	文末表現	思考に関わる言葉	90							
三	いにしえの言葉に親しもういにしえの人のえがく世界	古文	いにしえの言葉に親しもういにしえの人のえがく世界	210 66							
二	漢字の成り立ち	象形文字・指事文字 会意文字・形声文字	漢字の成り立ち	64							
一	敬語	尊敬語・謙讓語・丁寧語	敬語	42							
											ページ



「ことばのきまり」学年別指導内容一覧表

第一学年		第二学年		第三学年	
項	もくじ	項	もくじ	項	もくじ
一	ことばあそび 1	一	かん字の書き方	一	国語じてんの使い方
二	ことばあつめ 1	二	かたかなで書くことば	二	漢字の表す意味
三	にごる おん	三	かたかな表記の言葉	三	漢字の表す意味
四	ぶんを つくろう	四	擬音語 外国語	四	漢字の多義性
五	くつつきの「は・へ・を」	五	外国人名・地名	五	慣用句
六	てんと まる	六	形容詞等	六	指示語
七	つまる おん はねる おん	七	気もちを あらわす ときに	七	漢字の読み方
八	ことばあつめ 2	八	丸(○)、点(・)、かぎ(「」)	八	漢字の親しもう
九	ことばあそび 2	九	主語とじゅつ語	九	俳句に親しもう
十	のばして よむ ことば	十	なかにまになる ことば	十	くわしく表す言葉
十一	ちいさい「や」「ゆ」「よ」	十一	数を あらわす ことば	十一	漢字の組み立てと意味
十二	音や ようすを あらわす	十二	かん字の読み方と	十二	漢字の組み立てと意味
十三	ことば	十三	おくりがな	十三	漢字の構成
十四	かん字あつめ	十四	はんたいの いみの ことば	十四	漢字の構成
十五	かたかな	十五	出している	十五	漢字の構成
十六	よう日と 日づけ	十六	同じところの ある	十六	漢字の構成
十七	ままとめて よぶ ことば	十七	かん字、かたかな について	十七	漢字の構成
十八	かたかな	十八	組み合わせた ことば	十八	漢字の構成
指導内容	母音の発音 音節意識 濁音・半濁音 文 助詞「は・へ・を」 句読点 促音・撥音 語彙の拡充 音節意識 五十音表 長音 拗音・拗長音 擬声(音)語 擬態語 漢数字 象形文字・指事文字 促音・長音・拗音 シとツ・ソとン 曜日 日付 上位語・下位語 曜日 かぎ(「」 かぎ(「」)	指導内容	画・画数・筆順 かたかな表記の言葉 擬音語 外国語 外国人名・地名 形容詞等 句読点 かぎ(「」 名詞 動詞 主語・述語 上位語・下位語 数詞 送りがな 対義語 音節・同音異義語 部首・形 複合動詞	指導内容	国語辞典の使い方 意味の違い 漢字の多義性 慣用句 指示語 音訓 送りがな 三句十七音 季語 主語(あたま)のかぎり 述語(からだ)のかぎり 形容詞・形容動詞・副詞 漢字の構成 部首 大文字・小文字 長音・拗音・ 拗長音・促音等



第四学年		項	もくじ	指導内容
一	漢字辞典の使い方	部首索引		
二	ことわざ・故事成語を使おう	ことわざ 故事成語		
三	文の組み立てと修飾語	主語・述語・修飾語 文と文の接続関係		
四	つなぐ言葉	接続詞 接続助詞		
五	じゆく語の意味	熟語		
六	百人一首に親しもう	五句三十一音 百人一首		
七	同じ読み方の漢字	同音の漢字 同訓の漢字 同音異義語		
八	かなづかい	じ・ぢ・ず・づ 現代かなづかい		
九	文末の言い方	文末表現		
十	伝わりやすい文	漢字かな交じり文 読点		
十一	ローマ字の書き方	大文字・小文字 長音・拗音 拗音長・促音等		
第五学年		項	もくじ	指導内容
一	敬語	尊敬語・謙讓語 丁寧語		
二	漢字の成り立ち	象形文字 指事文字 会意文字 形声文字		
三	いにしへの言葉に親しもう いにしへの人のえがく世界	古文		
四	思考に関わる言葉	文末表現		
五	どうやって文をつなげれば いいの？	接続語		
六	熟語の構成と意味	熟語		
七	和語、漢語、外来語	和語、漢語、 外来語		
八	日本語と外国語	語順		
九	方言と共通語	方言・共通語		
第六学年		項	もくじ	指導内容
一	熟語の構成	熟語		
二	文と文のつながり つなぐ言葉の使い分け	指示語 接続語		
三	漢文に親しもう	漢文		
四	場面に応じた言葉づかい	敬語		
五	複合語	複合語		
六	似た意味の言葉の使い分け	類義語		
七	表現をくふうする	比喩・反復・倒置		
八	六年間の復習			





# まとめのテスト

(使い方)

- 長期の休みに入る前の時期に、まとめのテストを実施する。
- 実施する頁を増し刷りして、使用する。
- 児童に自己採点させたり、教師が採点したりして、評価する。
- 定着が不十分なら、振り返って学習する。

## 五年まとめのテスト② (P12) (P23)

※各五点(五は空)

- 一 次の言葉の歴史的かなづかいを現代かなづかいに直しましょう。
- (一) あらはすー (あらかず)
- (二) すゑー (すえ)
- (三) もみちー (もみじ)
- 二 次の言葉の意味を [ ] の中から選んで、記号で答えましょう。
- (一) いどうつくしうてあたり (イ)
- (二) ただ春の夜の夢のごとし (ア)
- (三) よろづのことに使ひけり (ウ)
- ア ようだ イたいへん ウいろいろなこと
- 三 次の「思考に関わる言葉」を使って短い文を作りましょう。
- (一) 「くだろつ」 (明日はきっと晴れるだろう。教師判断)
- (二) 「可能性が高い」 (今夜はきれいな星空が見られる可能性が高い。教師判断)

## 五年まとめのテスト③ (P24) (P30)

※各五点(五は空)

- 一 次の漢字と意味がたっている漢字を、中からさがして、熟語を作りましょう。
- (一) 教助 (二) 学習 (三) 決定
- (四) 通行 (五) 豊富 (六) 行定 (七) 行定 (八) 行定
- 二 次の漢字と意味が対になる漢字を組み合わせて、熟語を作りましょう。
- (一) 売買 (二) 左右 (三) 終始
- (四) 苦楽 (五) 勝負 (六) 右買 (七) 負買 (八) 負買
- 三 次の漢字を [ ] から選び、記号で書きましょう。
- (一) はろつ (二) 商品は (ア) する。
- ア 発送 (三) 彼は豊かな (イ) の持ち主だ。イ 発想 (四) エンジン (ア) になる。ア きょうりよく (五) みんなで (イ) して完成した。イ 協力

## 五年まとめのテスト① (P1) (P11)

※各五点

- 一 次の文中の言葉に導き語を導き出して直しましょう。
- (一) 今日、家にお医者様が来る。(いらつしやる。来られる。など)
- (二) 校長先生が訂つたこと。(おつしやつた。言われたなど)
- (三) お客様が水ようかんを食べる。(めしあがる。食べられるなど)
- (四) 先生が話をする。(される)
- (五) お客さんが帰つた。(お帰りになつた。帰られたなど)
- 二 次の文中の言葉にけんじよう語に直しましょう。
- (一) 何も言つことはありません。(申しあげます。申す。)
- (二) 母が、明日行きます。(参ります。参ります。)
- (三) おばさんからおかしをもらつた。(いただいた。うかがつて。)
- (四) お元氣だと、聞いています。(お聞きして。)
- (五) 先生の作品を見る。(はい見する。)

## 五年まとめのテスト④ (P12) (P17)

※各五点

- 一 次の(一)～(四)に分類される漢字を下の [ ] から選んで ( ) に書きましょう。
- (一) 象形文字 (手) (火)
- (二) 指事文字 (三) (下)
- (三) 会意文字 (岩) (鳴)
- (四) 形声文字 (板) (花)
- 二 次の二つの部分を組み合わせて、漢字を作りましょう。
- (一) 門 + 口 ↓ (問)
- (二) 氏 + 糸 ↓ (紙)
- 三 次のような外来語を一つずつ書きましょう。
- (一) 食べ物に関する外来語 (カヌー、ケーキなど)
- (二) 音楽に関する外来語 (ピアノ、タンリンなど)
- 四 次の言葉は、いろいろな地域の方言です。何を表しているか、( ) に書きましょう。
- (一) デーロ、デンデンシなど (カタツムリ)
- (二) ホカス、ホル、フテルなど (捨てる)
- (三) メンコイ、ムゴイ、ミジョイなど (かわい)

## 五年まとめのテスト⑤ (P24) (P30)

※各五点(五は空)

- 一 次の説明している内容が、和語ならア、漢語ならイ、外来語ならウを、( ) に書きましょう。
- (一) もともと日本にあった言葉。(ア)
- (二) 古い時代に中国から日本に入ってきた言葉。(イ)
- (三) かたかなで書かれる言葉。(ウ)
- 二 次の語の読みがなを書きましょう。また、和語には、漢語には2を、( ) の中に書きましょう。
- (一) 速度 (そくど) (2)
- (二) 厚紙 (あつがみ) (1)
- (三) 小麦 (こむぎ) (1)
- (四) 貯金 (ちよきん) (2)
- (五) 個人 (こじん) (2)

## 五年まとめのテスト⑥ (P12) (P17)

※各五点

- 一 次の英文を日本語にした場合、読む順番を ( ) に番号を書きましょう。(完答)
- (一) あなたは大きなハンバーガーを食べる。  
You eat big hamburger.  
(1)(4)(2)(3)
- (二) かれは泳ぐことができますか?  
Can he swim?  
(3)(1)(2)



# 五年まとめのテスト① (PI) (PII)

※各五点名前

点

一 次の文中の——の言葉を尊敬語に直しましょう。

三 次の(一)～(四)に分類される漢字を下の□の中

(一) 今日、家にお医者様が来る。

から選んで( )に書きましょう。

(二) 校長先生が言ったこと。

(一) 象形文字 ( ) ( ) ( )

(三) お客様が水ようかんを食べる。

(二) 指事文字 ( ) ( ) ( )

(四) 先生が話をする。

(三) 会意文字 ( ) ( ) ( )

(五) お客様が帰った。

(四) 形声文字 ( ) ( ) ( )

花	手	火	岩
下	鳴	板	三

二 次の文中の——の言葉をけんじょう語に直しましょう。

四 次の二つの部分を組み合わせ、漢字を作りま

(一) 何も言うことはありません。

しょう。

(二) 母が、明日行きます。

(一) 門 + 口 ↓ ( ) ( )

(三) おばさんからおかしをもらった。

(二) 氏 + 糸 ↓ ( ) ( )

(四) お元気だと、聞いています。

( ) ( )

(五) 先生の作品を見る。

( ) ( )



# 五年まとめのテスト② (PI2 ~ P23)

※各五点(六は完答)

名前

点

一 次の言葉の歴史的かなづかいを現代かなづかいに直しましょう。

- (一) あらはす ↓ ( )
- (二) すゑ ↓ ( )
- (三) もみぢ ↓ ( )

二 次の——の言葉の意味を  の中から選んで、記号で答えましょう。

- (一) いとうつくしうてゐたり ( )
- (二) ただ春の夜の夢のごとし ( )
- (三) よろづのことに使ひけり ( )

ア ようだ    イ たいへん    ウ いろいろなこと

三 次の「思考に関わる言葉」を使って短い文を作ります。

- (一) 「〜だろう」

- (二) 「可能性が高い」

四 次の漢字と意味がにている漢字を、中からさがして、熟語を作りましょう。

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| (一) 救 | (二) 学 | (三) 決 |
| (四) 通 | (五) 豊 | 助定習   |
|       |       | 行富    |

五 次の漢字と意味が対になる漢字を組み合わせて、熟語を作りましょう。

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| (一) 売 | (二) 左 | (三) 終 |
| (四) 苦 | (五) 勝 | 右買樂   |
|       |       | 負始    |

六 ( ) に入る漢字を  から選び、記号で書きましょう。

- (一) はつそう    ①商品 ( ) する。

- ア 発送    ②彼は豊かな ( ) の持ち主だ。
- イ 発想

- (二) きょうりよく    ①エンジンを ( ) にする。

- ア 強力    ②みんなで ( ) して完成した。
- イ 協力



# 五年まとめのテスト③ (P24～P30)

※各五点(五は完答)

名前

点

一 次の説明している内容が、和語ならア、漢語ならイ、外来語ならウを、( )に書きましょう。

(一) もともと日本にあった言葉。

(二) 古い時代に中国から日本に入ってきた言葉。

(三) かたかなで書かれる言葉。

二 次の語の読みがなを書きましよう。また、和語には1、漢語には2を、( )の中に書きましよう。

(一) 速度 ( )

(二) 厚紙 ( )

(三) 小麦 ( )

(四) 貯金 ( )

(五) 個人 ( )

三 次のような外来語を一つずつ書きましよう。

(一) 食べ物に関する外来語 ( )

(二) 音楽に関する外来語 ( )

四 次の言葉は、いろいろな地域の方言です。何を表しているか、( )に書きましよう。

(一) デーロ、デンデンムシなど ( )

(二) ホカス、ホル、フテルなど ( )

(三) メンコイ、ムゴイ、ミジョイなど ( )

五 次の英文を日本語にした場合、読む順番を( )に番号を書きましよう。(完答)

(一) あなたは大きなハンバーガーを食べる。

You eat big hamburger.

( ) ( ) ( ) ( )

(二) かれは泳ぐことができますか？

Can he swim?

( ) ( ) ( )





# 一 敬語

【教科書 P42～P43】

※正しい敬語の使い方を身につけさせる。

・先生がいらっしゃる。      ・市長に申しあげる。

このように、人に敬意を表したり、ていねいに言ったりするときを使う言い方を敬語といいます。敬語には、次のような種類があります。

①「いらっしゃる」のように、話す相手や、話題になっている人の動作などを高めることで、その人に敬意を表す言い方。      …… 尊敬語

②「申しあげる」のように、自分や自分の身内の人の動作を低めることで、話す相手や話題になっている人に敬意を表す言い方。      …… けんじよう語

③話す相手に対して事がらをていねいに言う言い方。      …… ていねい語

## 尊敬語

(一) 次の文中の――の言葉を尊敬語に直しましょう。左の□から選んで、( )に記号を書きましょう。

1 おばさんが人形をくれた。 (エ) □ から選んで、( ) に記号を書きましょう。

3 お医者様が言ったこと。 (ア) □ から選んで、( ) に記号を書きましょう。

5 今日、家に先生が来る。 (イ) □ から選んで、( ) に記号を書きましょう。

2 校長先生が話をする。 (オ) □ から選んで、( ) に記号を書きましょう。

4 お客さんが帰った。 (カ) □ から選んで、( ) に記号を書きましょう。

6 お客さまが食べるおかし。 (ウ) □ から選んで、( ) に記号を書きましょう。

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| ア おっしゃった | イ いらっしゃる | ウ めしあがる   |
| エ くださった  | オ される    | カ お帰りになった |



(二) 次にあげる言葉を「…れる」「…られる」「…られる」を使って尊敬語にしましょう。

1 話す ( ) 話される

2 持つ ( ) 持たれる

3 立つ ( ) 立たれる

4 見る ( ) 見られる

### けんじょう語

(一) 次の文の敬語の使い方が正しい方に○を付けましょう。

1 (○) 父が、明日学校にうかがうと申していました。

2 ( ) 市長が式典で話をする。

( ) 父が、明日学校にいらっしやると申していました。

(○) 市長が式典でお話しになる。

(二) 次の文中の――の言葉を、「お(ご)……します(する)」というけんじょう語に直し、( )に書きましよう。

1 父が、駅まで送ります。

( ) お送りします

2 わたしが、部屋まで案内します。

( ) ご案内します

※自分の家族のことを他人に言う場合には、尊敬語は使わないことを補足する。



(三) 次の文中の——の言葉をけんじょう語に直しましょう。左の□から選んで、( )に書きましょう。

1 弟が、明日行きます。( 参ります ) ( )

3 校長先生の絵を見る。( はい見する ) ( いただいた )

5 そのことでしたら、聞いています。( うかがって )

申しあげる ( いただいた )  
 参ります ( うかがって )  
 うかがって ( はい見する )

ていねい語

(一) 次の言い方は、どちらがていねいでしょうか。( )の中に○を付けましょう。



(二) 次の文章の——の言葉を、自己しようかひの場面にあつたていねいな言ひ方に直して、( ) に書きましよう。

ぼくの名前は、田中修おさむだ。名古屋から来た。ぼくは三人兄弟  
( ) ( **です** ) ( ) ( **ました** )  
だ。兄と弟がいる。兄は六年生で、弟は三年生だ。名古屋の学  
( **です** ) ( ) ( **います** ) ( ) ( **です** )  
校で入つていたクラブはサッカー部だつた。ぼくの特技はリフ  
( ) ( **でした** ) ( ) ( ) ( **しています** )  
ティングだ。今は連続百回できるように練習をしている。でき  
( ) ( **思います** ) ( )  
るようになったら、みんなに見せたいと思う。これからよろし  
( ) ( **します** ) ( )  
くおねがひする。

おおぜい  
大勢の人の前で話すとき  
には、相手を思いやる気持  
ちをこめて「です・ます」  
を使ったていねいな言ひ方  
をするよ。



見てみよう



文化庁  
「敬語おもしろ相談室」



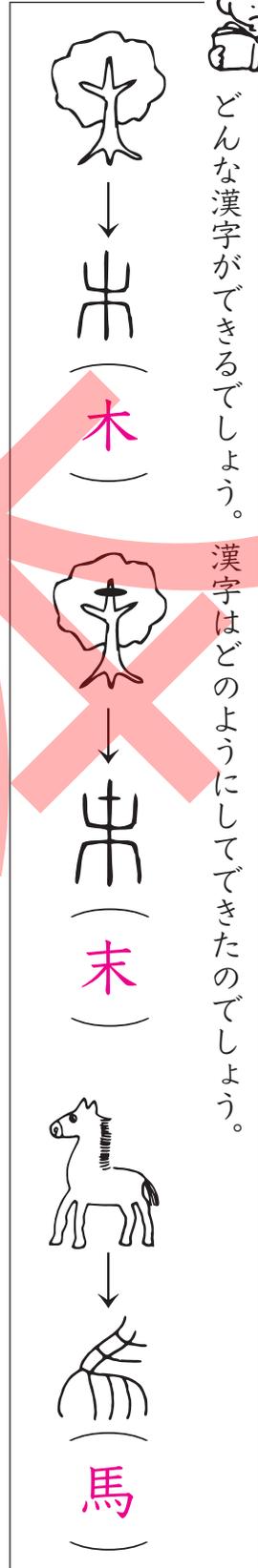
## 二 漢字の成り立ち

【教科書 P64～P65】

※漢字の成り立ちを知らせ、その特質を理解させる。



どんな漢字ができるでしょう。漢字はどのようにしてできたのでしょうか。



(一) 次の形からできた漢字は何でしょう。下の  の中から選びましょう。

※象形文字の例

1 子 (子)

火 (火)

魚 (魚)

鳥 (鳥)

魚 火 鳥 子

※指事文字の例

2 三 (三)

下 (下)

天 (天)

本 (本)

下 本 三 天

(二) 次の二つの文字の組み合わせから、どんな漢字ができたのでしょうか。下の  の中から選びましょう。

※会意文字の例

1 火 + 田 (畑)

田 + 力 (男)

山 + 石 (岩)

口 + 鳥 (鳴)

岩 男 鳴 畑

※形声文字の例

2 日 + 青 (晴)

王 + 求 (球)

木 + 反 (板)

相 + 心 (想)

球 板 晴 想





漢字の成り立ちには、主なものとして、次のようなものがあります。

※漢字の成り立ちについては辞典によって説明が異なる場合があります。

① 象形文字……具体的な物の形を線で書き表した文字



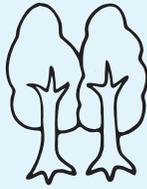
口 耳 手 足 子  
水 鳥 馬 など

② 指事文字……具体的な形に表しにくい事गरらる、点や線などを使って表した文字



上 下 本 中 三  
天 など

③ 会意文字……漢字を二つ以上の漢字を組み合わせて、新しい意味を表すようにした文字



木と木で→林



山と石を合わせて→岩

森 取 計 知 明  
鳴 畑 など

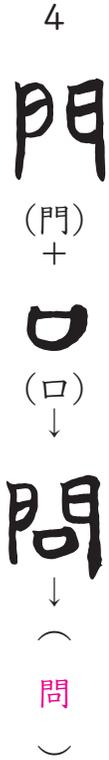
④ 形声文字……音を表す漢字と意味を表す漢字を組み合わせて作った文字



漢字の大半は、この方法で作られています。



(三) 今の漢字にすると、どんな漢字になるでしょう。



(四) 次の1〜4に分類される漢字を選び、□に書き入れましょう。  
の中から

1 象形文字

川

鳥

2 指事文字

上

二

3 会意文字

明

休

4 形声文字

時

働

二 働 上 鳥 休 時 明 川

試してみよう

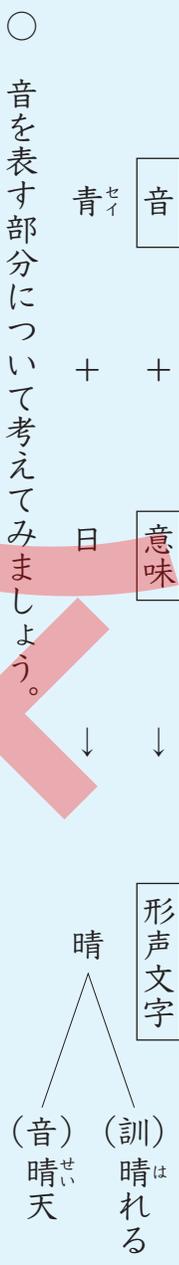


「どんな漢字になるのかな」





形声文字は次のような文字の組み合わせになっています。



○ 音を表す部分について考えてみましょう。

- 字の右側が音を表すもの……晴<sup>セイ</sup>、清<sup>セイ</sup>、板<sup>バン</sup>、版<sup>バン</sup>、銅<sup>ドウ</sup>、係<sup>ケイ</sup>など

- 字の左側が音を表すもの……案<sup>アン</sup>、効<sup>コウ</sup>、放<sup>ホウ</sup>、判<sup>バン</sup>、頭<sup>トウ</sup>、歌<sup>カ</sup>、製<sup>セイ</sup>など

- 字の上半分が音を表すもの……志<sup>シ</sup>、努<sup>ヌ</sup>、悲<sup>ヒ</sup>、想<sup>ソウ</sup>、景<sup>ケイ</sup>など

- 字の下半分が音を表すもの……固<sup>コ</sup>、問<sup>モン</sup>、聞<sup>モン</sup>、週<sup>シュウ</sup>など

- その他……

○ 意味を表す部分について考えてみましょう。

- シ(さんずい)は、水の流れる形と水を表し、水や液体<sup>えきたい</sup>に関する文字となります。

- 水<sup>スイ</sup>は、他の字と合わさるときはシの形になります。池<sup>チ</sup>、流<sup>リウ</sup>、注<sup>シュ</sup>など

- 才<sup>サイ</sup>(てへん)は、五本の指と手のひらを開いた形を表し、手の動作に関する文字となります。

- 手<sup>テ</sup>は、他の字と合わさるときは才の形になります。持<sup>チ</sup>、打<sup>ダ</sup>、投<sup>テウ</sup>など

- 貝<sup>バイ</sup>(かい、かいへん)は、二つにわかれる二枚貝<sup>にまいがい</sup>を表し、むかしは、貝<sup>バイ</sup>をお金として使ったので、

- 貝<sup>バイ</sup>は、お金や財産<sup>ざいさん</sup>、ねうちのあたるたからものなどに関係のある文字となります。

- 貝<sup>バイ</sup>は、買<sup>バイ</sup>、貨<sup>カ</sup>、貯<sup>チュ</sup>など

- 心<sup>シン</sup>(こころ、りっしんべん)は、心臓<sup>しんぞう</sup>の形を表したもので、人間の気持ちと関係のある文字となります。

- 心<sup>シン</sup>は、他の字と合わさるときは忄<sup>しんぞう</sup>の形にもなります。快<sup>クワイ</sup>、情<sup>セイ</sup>、悲<sup>ヒ</sup>など

参考にしよう



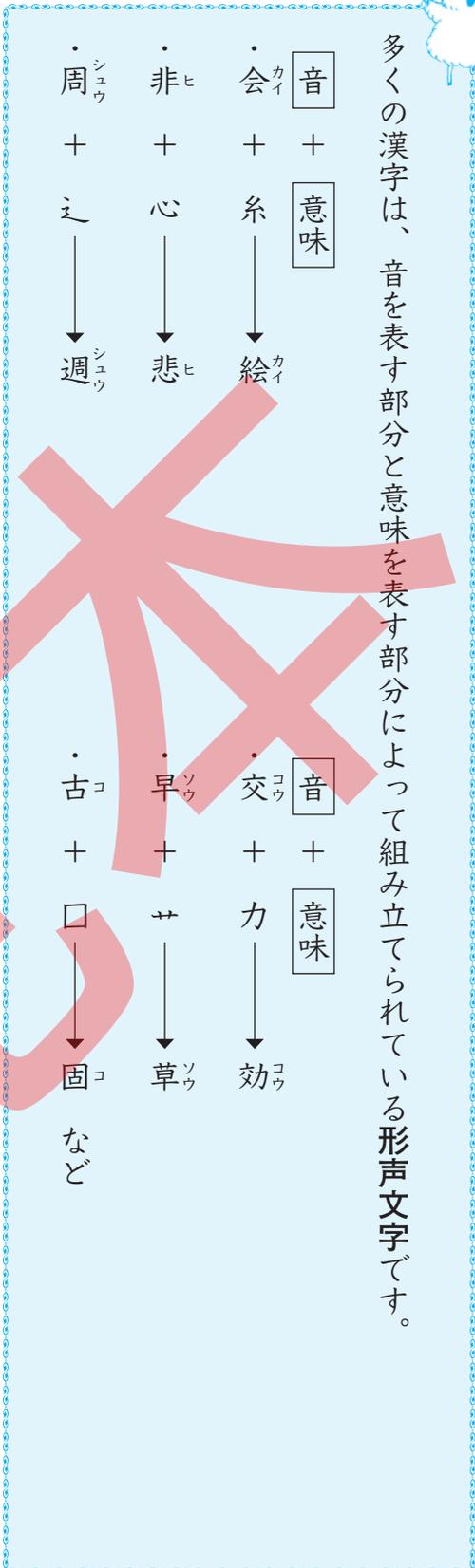
ちびむすドリル「漢字の成り立ち」





多くの漢字は、音を表す部分と意味を表す部分によって組み立てられている形声文字です。

※漢字の構成について理解させる。



(五) 次の二つの部分を組み合わせ、漢字を作りましょう。

1 責 + 禾 ↓ ( 積 )

3 九 + 穴 ↓ ( 究 )

5 門 + 口 ↓ ( 問 )

7 昭 + 灬 ↓ ( 照 )

2 氏 + 糸 ↓ ( 紙 )

4 受 + 扌 ↓ ( 授 )

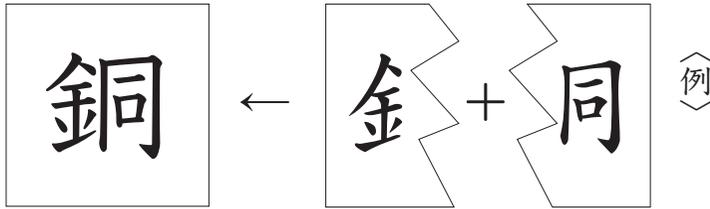
6 永 + 氵 ↓ ( 泳 )

8 井 + 口 ↓ ( 困 )



(六) 左の円の中の「意味を表す部分」と「音を表す部分」と「音を表す部分」とを組み合わせて、漢字を作りましょう。

同じ部分を何度使ってもかまいません。

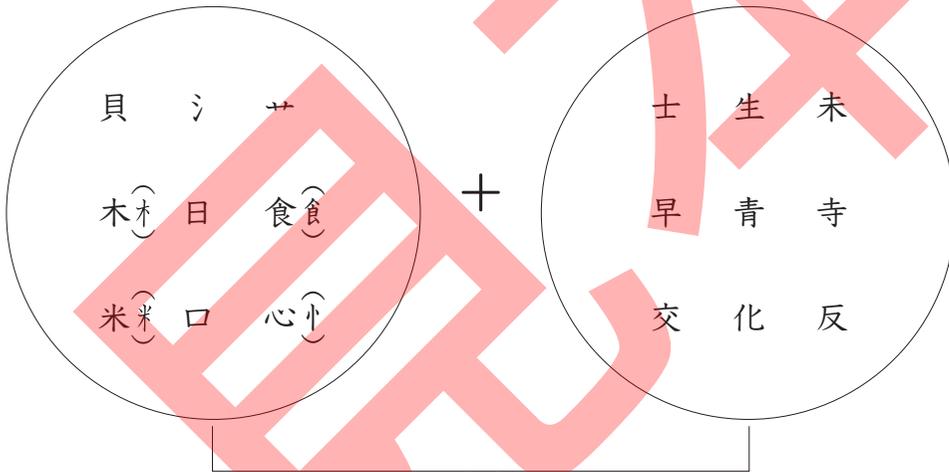


「金属」に関する意味 (ドウ)



<意味を表す部分>

<音を表す部分>

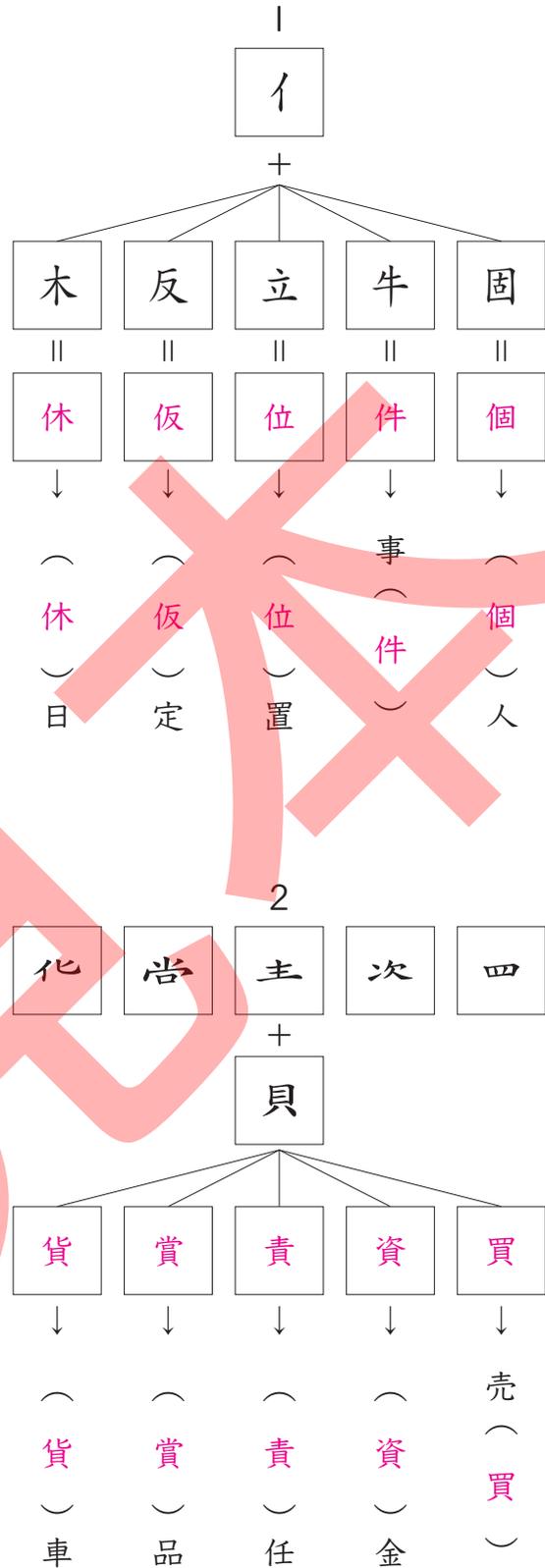


校	味	性	志	花
精	貨	時	清	飯

情、晴、板、販、草など



(七) 上と下とを組み合わせると、どんな漢字ができるでしょう。できた漢字を使って熟語じゆくを完成させましょう。



(八) 同じ部首の漢字を集めてみましょう。何に関係する意味をもっているか、線で結びましょう。

3	2	1
心 (こころ)	シ (さんずい)	言 (ごんべん)
(例) 悲	(例) 泳	(例) 話
念	海	読
志	泣	説
思など	深など	語など
言葉に関係があるもの	人の気持ちに関係があるもの	水に関係があるもの





### 三 いにしえの言葉に親しもう・いにしえの人のえがく世界

【教科書 P66 ~ P71  
P210 ~ P213】

日本には、「竹取物語」のように、古くから今日まで長い間親しまれてきたたくさんの方々の文章があります。文章の中には、今では使われなくなった文字や言葉もあります。

昔の言葉に使われているかなづかいは、現代のものとはことなるところがあるので、次のように書いたり読んだりする約束があります。

- 「は、ひ、ふ、へ、ほ」(語頭以外にある場合) ↓ 「わ、い、う、え、お」 「ゐ、ゑ」 ↓ 「い、え」
- 「む」 ↓ 「ん」 「ぢ」 ↓ 「じ」 「づ」 ↓ 「ず」
- 「しう」 ↓ 「しゅう」

(一) 次の文で使われている昔のかなづかいを、現代のかなづかいに直しましょう。

〈例〉 かき食~~え~~ば かねが鳴るなり 法隆寺ほうりゅうじ

今は昔、竹取のおきなといふ者ありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろ~~ず~~のことに使~~い~~けり。  
名をば、さぬきのみやつことなむ~~い~~ひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ~~ん~~一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、つつの中光りたり。  
それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつく~~し~~入~~り~~てゐたり。



(二) 次の——の言葉の意味を  の中から選んで、記号で書きましょう。

- 1 よろづのことに使ひけり ( )  ア ようだ
- 2 あやしがりて、寄りて見るに ( )  イ いろいろなこと
- 3 いとうつくしうてゐたり ( )  ウ 不思議に思つて
- 4 ただ春の夜の夢のごとし ( )  エ たいへん

(三) 次の——の言葉の意味を、下の  の中から選んで、( ) に書きましょう。

- 1 つれづれなるままに、 ( )  まま、  
( )  何もすることがない
- 2 日暮らし、すずりに向かひて、 ( )  一日中  
( )  すずりに向かつて
- 3 心にうつりゆく  
心に ( )  うかんで消えてゆく  
( )
- 4 よしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、  
( )  とりとめのない  
( )  ことを、何という当てもなくかきつけていると、
- 5 あやしうこそものぐるほしけれ。 ( )  みように  
( )  変な感じがしてくることだ。

とりとめのない  
みように  
一日中  
うかんで消えてゆく  
何もすることがない



(四) 1 次で使われている昔のかなづかいを現代のかなづかいに直しましょう。

例 盛者必衰のことわりをあらはす。(「平家物語」より)

月日は百代の過客にして、行き交ふ年もまた旅人なり。

舟の上に生涯をうかべ、馬の口とらえて老いを迎ふる者は、日々旅にして、旅を栖とす。

2 右の——部を全てひらがなにしましょう。

月日は百代の過客にして(つきひははくたいのかかくにして)

(五) (三)の問題に使われた作品名と作者名を答えましょう。

(三) 作品名(徒然草) 作者名(兼好法師(吉田兼好))

(四) 作品名(おくのほそ道) 作者名(松尾芭蕉)



なせば成るなさねば成らぬ何事も成らぬは人のなさぬなりけり

上杉鷹山

【意味】 何事においても強い意志をもって行えば、やりとげることができる。思いどおりの結果が得られな

いのは、やりとげようとする意志が弱いからだ。

天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといへり

福沢諭吉(「学問のすゝめ」)

【意味】 人は本来、上下の別なく平等であると言われるている。(人生を切り開く力となるのは学問だ。一人

一人が学問を身につけ、自立した人間にならなければならない。)

古い書物の一節や、れきし上の人物の言葉の中には、現代に生きるわたしたちの心にひびく言葉がたくさんあります。そこに表れた昔の人の思いや考えにふれ、そのよさを味わいましょう。



(六) 次の——の言葉の意味を、あとの□から選んで書きましょう。

1 春はあけぼの

↓春はなんといつても( )

明け方

2 やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

↓( ) だんだん

( ) あたりが白んで、山のすぐ上の空が少し明るくなって、紫がかつた雲

が細くたなびいている様子。

3 雨など降るもをかし。

↓雨などがふるのもまた( )

よい

4 からすの寝所へ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり。

↓からすがねぐらへ帰ろうと、三つ四つ、二つ三つと急いで飛んでいく様子も

( ) しみじみと心ひかれる

5 冬はつとめて。

↓冬は( ) 早朝

6 火桶の火も、白き灰がちになりてわろし。

↓火ばちの炭火も白く灰をかぶってしまった( ) みっともない

早朝 明け方 だんだん よい みっともない しみじみと心ひかれる

見てみよう



NHK for School  
おはなしのくにクラシック  
「枕草子(清少納言)」



#### 四 思考に関わる言葉

【教科書P90～P91】

次の①～③の文にはどんなちがひがありますか。

- ① 雨がふるだろう。
- ② 雨がふるかもしれない。
- ③ 雨がふるはずだ。

「雨がふる」と判断する度合いで考えると、最も度合いが強いのは③です。一方、最も度合いが弱いのは②となります。

「だろう」や「かもしれない」「はずだ」という文末の表現によって、判断の度合いのちがひを表すことができます。

次の④～⑥の文について考えましょう。

- ④ 雨がふると予想する。
- ⑤ 雨がふると仮定する。
- ⑥ 雨がふると断定する。

④の「予想する」→これから起こることを前もっておしはかるという意味

(※データなどにもとづいておしはかる場合は「予測する」も使われる。)

⑤の「仮定する」→事実かどうかに関係なく仮に考えようだと考える意味

(※状況や条件などを仮に考える場合は「想定する」を使う。)

⑥の「断定する」→証拠などによってはっきりと判断するという意味

このように述語で判断のちがひを表すことができます。



(一) 次の「思考に関わる言葉」を使って短い文を作りましょう。

1 「くだろう」

( ) 明日はきっと晴れるだろう。教師判断

2 「見通しだ」

( ) 作品は明日までに完成する見通しだ。教師判断

3 「可能性が高い」

( ) 今夜はきれいな星空が見られる可能性が高い。教師判断

(二) 次の「思考に関わる言葉」の意味を国語辞典を使って調べましょう。

1 「すい理する」

( ) ある事からから、他の事がらをおしはかること

2 「連想する」

( ) ある事がらから、それに関係のある他の事がらを思いうかべること

3 「考察する」

( ) 物事の性質などをはっきりさせるために、よく調べて考えること



## 五 どうやって文をつなげればいいのか？

【教科書  
P146  
～  
P147】

サッカーの試合でミスをしたので負けてしまったから楽しくなかったけれど、先生がよくがんばったとほめてくれたからとてもうれしかった。

なんだかわかりにくく感じます。

そこで、言いたいことを一つずつまとめてみます。

① サッカーの試合でミスをした。

② 負けてしまった。

③ 楽しくなかった。

④ 先生がよくがんばったとほめてくれた。

⑤ とてもうれしかった。

①～⑤をどのようにつなげればわかりやすくなるのでしょうか。

①②④は事実

③と⑤は反対の意味（逆説）

①は②の

②は③の  
原因や理由になっている。

④は⑤の

「関係が分かる言葉」を選んで文をつないでみましょう。

例 サッカーの試合でミスをしてしまったので負けてしまった。

楽しくなかったけれど、先生がよくがんばったとほめてくれたからうれしかった。

★前後の関係が分かるように、適切な言葉を選んでつなぐよ。  
★つなぐ言葉を入れないほうがすっきりすることもあるよ。





## 六 熟語の構成と意味

【教科書 P170 ~ P171】

「熱湯」という熟語があります。すぐに読み方や意味が分からなかったとき、どうしますか。そんなときは、漢字一つ一つの意味を考えてみましょう。

「熱」は「熱い」という意味をもつ漢字です。そして「湯」は「お湯」のことです。したがって「熱湯」は「熱いお湯」だということが分かります。

漢字には、一つ一つ意味があります。熟語は、漢字を組み合わせて作られているので、それぞれの漢字の意味が分かれば、その熟語の意味も分かることがあります。



(一) 次の熟語の意味が分かるように、例にならつ

て ( ) の中に書きましょう。

※表意文字である漢字が、どのような組み立てて熟語を作り上げているかを理解させる。

〈例〉大木 (大きな木)

1 着席 (席に着く)

2 美人 (美しい人)

3 父母 (父と母)

4 無害 (害が無い)

5 上下 (上と下)





熟語じゆくの構成をまとめてみると次のようになります。

- ① いた意味を表す漢字が組み合わさっている。……………「森林」(森と林)
- ② 意味が対つひになる漢字が組み合わさっている。……………「強弱」(強さと弱さ)
- ③ 上の漢字の意味が下の漢字の意味をくわしく説明している。……………「冷水」(冷たい水)
- ④ 上の漢字が動作や作用を、下の漢字がその対象を表している。……………「作文」(文を作ること)
- ⑤ 上の漢字が下の漢字の意味を打ち消している。……………「不足」(足りないこと)

(二) 次の漢字と意味がにている漢字を、  
□の中からさがして、熟語じゆくを作りましょう。

	6	1
	生 産	救 助
	7	2
	通 行	衣 服
	8	3
	禁 止	学 習
	9	4
	豊 富	競 争
	10	5
	集 合	決 定

止 助 定 服 習 産 争 行 合 富



(三) 次の漢字と意味が対になる漢字を組み合わせて、熟語を作りましょう。

1 遠  
近

2 売  
買

3 天  
地

4 左  
右

5 内  
外

6 終  
始

7 明  
暗

8 苦  
楽

9 姉  
妹

10 勝  
負敗

(四) 次の熟語の構成を、  
の中からさがして、番号で書きましよう。

- ① にた意味    ② 意味が対になる    ③ 上が下をくわしく説明  
④ 下が上の動作や作用の対象    ⑤ 上が下を打ち消す

- 1 道路 ( ① )    2 点火 ( ④ )    3 海水 ( ③ )    4 前後 ( ② )  
5 無礼 ( ⑤ )    6 青空 ( ③ )    7 未定 ( ⑤ )    8 投球 ( ④ )  
9 身体 ( ① )    10 往復 ( ② )





熟語には、同じ読み方で意味のちがうものがあります。同じ読み方の熟語は、漢字の表す意味のちがいに注意して使い分けます。

(五) ( ) に入る漢字を  から選び、記号で書きましょう。

1 はっそう

①商品を (ア) する。

2 しょうひん

①店頭に (イ) を並べる。

②彼は豊かな (イ) の持ち主だ。

②一等の (ア) は温泉旅行だ。

ア 発送    イ 発想

ア 賞品    イ 商品

3 こうさく

①図画 (イ) の学習。

4 じんこう

①世界の (イ) が増え続ける。

②田畑を (ア) する。

② (ア) 衛星を打ち上げる。

ア 耕作    イ 工作

ア 人工    イ 人口

5 きょうりよく

①エンジンを (ア) にする。

6 かいとう

①冷凍食品を (ウ) する。

②みんなで (イ) して完成した。

② (イ) 用紙を配る。

ア 強力    イ 協力

ア 回答    イ 解答    ウ 解凍

③アンケートに (ア) する。





漢字は同じでも、読み方によってちがう言葉になる熟語じゆくもあります。例えば、「ふうしゃ」と、「かざぐるま」は、漢字で書くとどちらも「風車」となります。

(六) 次の熟語じゆくは、読み方によってちがう言葉になります。それぞれの言葉を使った文を作りましょう。

1 金星

読み ( きんせい ) 文 ( 例 夜空に金星が輝く。 )

読み ( きんぼし ) 文 ( 例 横づなに勝って金星をあげる。 )

2 見物

読み ( けんぶつ ) 文 ( 例 ベランダから花火を見物する。 )

読み ( みもの ) 文 ( 例 この対戦カードは見物だ。 )

3 色紙

読み ( しきし ) 文 ( 例 色紙に寄せ書きをする。 )

読み ( いろがみ ) 文 ( 例 色紙でかざりつけをする。 )



## 七 和語、漢語、外来語

【教科書 P176 ~ P177】



「昼食」と「昼飯」に読みがなを付けてみましょう。

(ちゅうしょく)

昼食

(ひるめし)

昼食

「昼食」は音<sup>おん</sup>だけで読まれるし、「昼飯」は訓だけで読まれます。このように、漢字だけで組み立てられている語のうち、「昼食」のように音<sup>おん</sup>だけで読まれる語を漢語といいます。「昼飯」のように訓だけで読まれる語を和語といいます。漢語は、古い時代に中国から日本に入ってきた言葉で、和語はもともと日本にあった言葉です。ただし、音読みと訓読みが組み合わさった言葉も存在します。

漢語は音読みで、和語は訓読みなんだね。



見てみよう



NHK for School  
読み書きのツボ  
「言い換えゲーム3  
～和語と漢語～」

※和語・漢語の違いを理解させ、様々な言葉に興味を持たせる。

(一) 次の語の読みがなを書きましよう。また、漢語には1、和語には2をへゝの中に書きましよう。

※1は訓読み

1 学校 (がっこう) へ1 へゝ  
2 花火 (はなび) へ2 へゝ

3 教室 (きょうしつ) へ1 へゝ  
4 開店 (かいてん) へ1 へゝ

5 貿易 (ぼうえき) へ1 へゝ  
6 屋根 (やね) へ2 へゝ

7 月見 (つきみ) へ2 へゝ  
8 休日 (きゅうじつ) へ1 へゝ



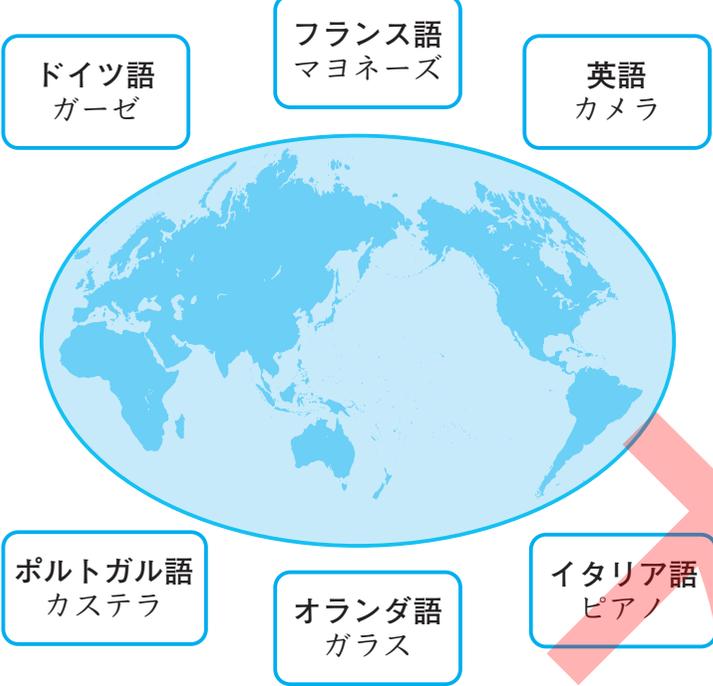
わたしたちの生活の中にあるものには、かたかなで書き表すものがたくさんあります。「カステラ」「カメラ」「ピアノ」「マヨネーズ」「ガラス」「ガーゼ」など、もともと日本になかった物を中国以外の外国から取り入れるとき、それらを指す外国語をそのまま借りて日本語としました。このような言葉を**外来語**といいます。

外来語は、世界のいろいろな国から、それぞれの国の文化と一緒に入ってきました。古いものは四百年もの間、使い続けられています。

(二) 生活の中から外来語をさがして、集めてみましょう。

〈例〉ピザ、タワー、リットル など

- カルタ ケーキ チョコレート
- オルゴール サッカー ソフトボール
- タンブリン



※外来語は、多くの場合かたかな表記である。しかし、最近では、本来ひらがな表記する言葉もかたかなで書く子どもが多くなっている(ゴミ、クスリ、キラキラ など)。かたかな表記の意味を知らせ、意識させたい。





## 八 日本語と外国語

【教科書  
P203(1)  
P200(4)】

世界には様々な言葉があります。他の国の言葉と比べたとき、日本語にはどんな持ちようがあるのでしょうか。英語と比べると次のような持ちようがあります。

### ① 音おんと文字との関係

日本語は、「a・i・u」という母音ぼいんと、「k・s・t」という子音しおんの組み合わせでできています。かな一文字に対して、一つの音のかたまりがあります。

一方、英語は、「a・b・c」というアルファベットを使って書き表しますが、アルファベットを一つずつ読むだけでは言葉になりません。

### ② 文の組み立てと語順

日本語と英語では、語順が違います。また、日本語では、述語の形によって文全体の表す意味のちがいを伝えることができます。

#### 【日本語】

あさ (朝)

a sa



#### 【英語】

モーニング

morning

× mouningu

わたしは 野球が 好きです。

I

like

baseball.

これはあなたの本です。

This is your book.

これはあなたの本ですか？

Is this your book?



(一) 次の ( ) にあてはまる言葉やアルファベットを書きましょう。

(二) 次の英文を日本語にした場合、読む順番を ( ) に番号を書きましょう。

例

わたしは昼食をとる。

I eat lunch.

( 1 ) ( 3 ) ( 2 )

① わたしは英語を勉強する。

I study English.

( 1 ) ( 3 ) ( 2 )

② あなたは大きなハンバーガーを食べる。

You eat big hamburger.

( 1 ) ( 4 ) ( 2 ) ( 3 )

③ かれは泳ぐことができますか？

Can he swim?

( 3 ) ( 1 ) ( 2 )

①

【日本語】 犬

i nu

↓

【英語】 ( dog )

②

【日本語】 ( テニス )

te ni su

↓

【英語】 tennis

③

【日本語】 レストラン

( resutoran )

↓

【英語】 restaurant





## 九 方言と共通語

【教科書 P236 ~ P237】

※共通語と方言の違いを理解させる。  
※三河地方でも場所によって違いがある。

「おばあちゃん、ぼくもあんなおもちゃほしいよ。」  
「ほかの子をけなるがとっちゃんわ。がまんしりん。もうすぐたん生日だから。」  
プレゼントももらえるじゃん。」

あなたの身近に、こんな言葉で話す人はいませんか。それぞれの地域で、伝統的に使われてきた言葉や言い方を方言と言います。これは三河地方の方言で、「ほかの子をうらやましがってはいけませんよ。がまんしなさい。もうすぐたん生日でしょう。プレゼントももらえるじゃない。」と言っているのです。

三河地方の方言では、「〜ですね」という意味の「じゃん」や「だら」、また「〜しなさい」という意味の「りん」という言い方が有名です。「とても」という意味を表す「ど」もよく使われました。「ど長い」（とても長い）「どうまい」（とてもうまい）などです。

日本は小さい国ですが、昔の人々は自由に交流をしたり、行き来したりすることはできませんでした。そのため、地方ごとに言葉が変化していき、ことなる方言が生み出されていったのです。それに対し、全国的に使われ、どの地域の人たちにも通じる言葉を**共通語**と言います。学校で勉強するときや、よその地域の人と話すときなどは共通語を使います。現在では、ほとんどの人がテレビなどから共通語を聞いて生活していますので、日本中どこへ行っても、だれでも共通語を話せるようになってきました。方言も共通語も、わたしたちの生活に欠かせない大切な言葉なのです。



(一) 次の言葉は、いろいろな地域の方言です。同じことを表していますが、何のことか分かりますか。

デーロ (長野県など)	マイマイ (静岡県など)	デンデンムシ (近畿地方)	ツブラメ (鹿児島県など)
メンコイ (北海道・東北地方)	ムゾラシカ (熊本県など)	メゴイ (東北地方)	チュラカーギー (沖縄県)
ミジヨイ (新潟県など)			

かわいい

カタツムリ

ガエラゴ (岩手県など)	ゲルクト (秋田県・山形県など)	カエルノコ (新潟県・滋賀県など)	オタマ (神奈川県・岐阜県など)
ギヤーノコ (島根県など)			
ナゲル (北海道など)	ウチャル (埼玉県など)	ホカス (京都府・広島県など)	ホル (兵庫県など)
フテル (高知県など)			

捨てる

オタマジャクシ

そのほかにも、地域によって呼び方や言い方のちがうものがたくさんあります。

試してみよう



いろいろな地域の方言



(二) 自分が住んでいる地域ちいきの方言やいろいろな地域ちいきの方言を調べましょう。本で調べたり、家の人に聞いてみたりしましょう。



共通語					県名・地域 <small>ちいき</small>	方言

見本



線で結んで漢字を作ろう

竹 田 穴 因 木

心 示 非 工 梁

恩 禁 罪 空 築

令和6年度版 ことばのきまり 5年

編集 「ことばのきまり」編集委員会  
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会  
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1  
電話 0564-51-4819

印刷 株式会社 岡田印刷

※無断で複写・複製することを禁じます。

※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。





名 前

年

組

見本